

自己改革の取り組み

○国が求める「農協改革」とは…

農業所得の増大に向けた経済活動を積極的に行う組織となることが求められるとともに、JAの組織分割・株式会社などへの転換が可能となりました。また、准組合員の利用規制が導入される可能性があり、「総合農協」の解体も危惧される状況となっています。

○JAグループが自ら取り組む「自己改革」とは…

農業者の所得増大に取り組みつつ、地域貢献活動にも取り組んでいきます。農業、地域の実情に応じて、その課題を解決するために組織活動をし、地域になくってはならない存在になることを目指します。

○JAあきた白神の取り組み

JAの特性を活かしながら、食と農を基軸として「人・モノ・情報等の幅広い交流」の基礎となる活動に取り組み、組合員や地域住民が住み慣れた地域で心豊かに、安心して暮らせる活動に取り組んでいます。

JAあきた白神自己改革基本方針

I. 農業生産の拡大と農業者の所得向上

- ① 担い手のみならず家族経営等、多様な農業者の営農意欲を喚起し、地域特性を活かした複合経営を推進し、産地づくりと担い手づくりを進める。
- ② 無料職業紹介所を有効に活用し、稲作、畑作の労働力不足の一助となるよう運営し、農業生産の拡大を推進する。
- ③ 肥料の銘柄集約やBB肥料の取り扱いの拡大、農薬では大型規格等の充実、また、物流面では担い手向け肥料農薬直行配送など生産資材コスト削減に取り組む。

II. 心豊かに安心して暮らせる地域社会の実現

- ① 組合員や地域住民を対象とした学習活動や文化活動を継続的に行い、地域交流の場づくりやJA・農業ファンづくりを進める。
- ② 総合的なJA高齢者福祉事業・活動の展開。

III. 財務基盤強化と組合員参画による組織基盤の確立

- ① 将来に渡り農業とくらしに関わる組合員・地域の多様なニーズに対応できるよう財務基盤の確保を図る。
- ② 事業全般についてのリスク管理強化に努め、経営管理高度化の取り組みに併せ、収益の安定確保を図る。